

協立工業株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年6月1日 ~ 2024 年5月31日)

東大阪市にある塗装屋です。
色、塗料、塗装に興味ある方どうぞ



®環境省
エコアクション21
認証番号0011846

世界に美を 社会を彩り明るく — 協立工業株式会社

Kyoritu kogyo co.,LTD

「世界に美を 社会を彩り明るく」
この経営理念のもとに 家庭用品、お店の陳列什器、
福祉機器等の色づけと提案を日夜おこなっています。

発行日: 2024年7月5日
作成者: 森岡 久和
(環境管理責任者)



2023年5月新倉庫2階に新ラインが稼働。エアシャワー、縦釜2機完備、明るく清潔な検査場で高品質な仕事に対応します

協立工業株式会社 環境経営方針

世界に美を社会を彩り明るく環境にも貢献できる塗装会社を目指し、塗装を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動について自主的・積極的・継続的改善に取り組めます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する
2. 二酸化炭素排出量の削減
3. 廃棄物の削減
4. 水使用量の削減
5. 化学物質使用量の削減
6. 地域での清掃活動に努める
7. 新型ウィルスによる健康被害への配慮に努める

制定日：2016年8月5日

改定日：2021年8月20日

協立工業株式会社
代表取締役 林 茂元

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
協立工業株式会社
代表取締役林茂元
- (2) 所在地
本 社 大阪府東大阪市西堤本通東1-2-16
(有)キョーリツカロード 大阪府東大阪市吉原2-11-43
本社新倉庫(旧、角由倉庫) 大阪府東大阪市西堤本通東1-3-31
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 森岡(協立) TEL:06-6788-8151
担当者 木根田(カロード) TEL:072-965-1936

- (4) 事業内容
工業製品の塗装加工
主要製品:検査機器部品、医療機器部品等の塗装

- (5) 事業の規模

	5.9 億円			合計
	本社	本社新倉庫	(有)キョーリツカロード	
製品出荷額				
従業員 (人)	33	0	22	55
延べ床面積 (㎡)	1100	530	1000	2630

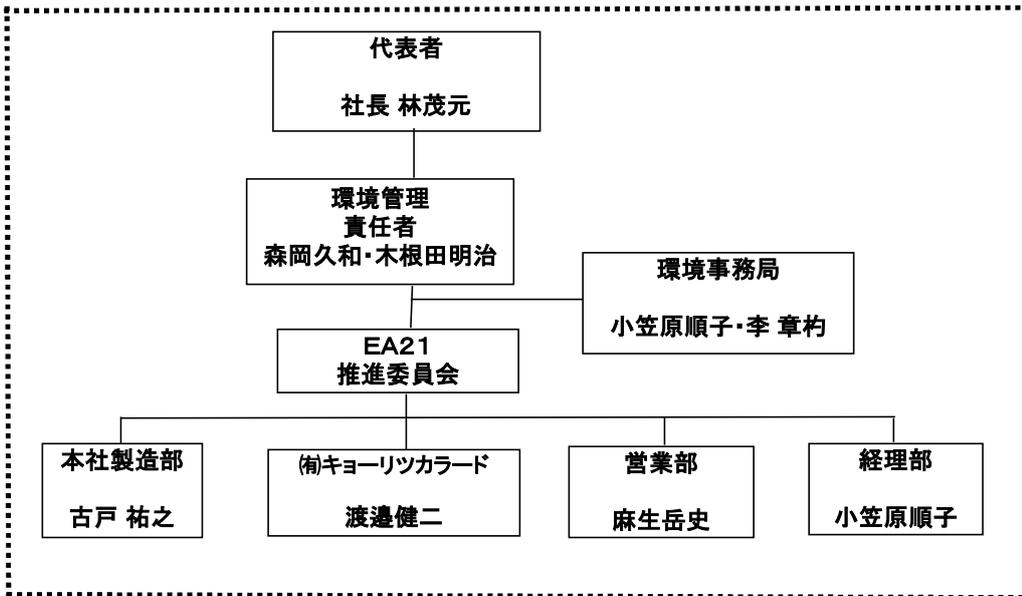
- (6) 事業年度 6月～翌年5月

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名: 本 社
対象事業所: (有)キョーリツカロード
本社新倉庫(旧、角由倉庫)

活動: 工業製品の塗装加工

協立工業株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度	(基準年度)	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	575,585	582,062	590,495
産業廃棄物排出量	kg	49,000	54,200	50,600
総排水量	m ³	5,291	5,226	4,865

※電力の二酸化炭素排出量換算値

0.523 kg-CO₂/kWh

(関西電力 2014年度調整後排出係数)

□環境目標及びその実績

項目	年度(目標)	基準値	2023年度 (3%削減)		2024年度 (3%削減)	2025年度 (3%削減)
		(基準値)	(目標)※	(実績)	(参考目標)	(参考目標)
購入電力	kg-CO ₂ 対目標値比	230,797	238,921	245,652 103%	238,282	231,134
都市ガス	kg-CO ₂ 対目標値比	319,101	340,295	312,419 92%	303,046	293,955
液化石油ガス(LPG)(※)	kg-CO ₂ 対目標値比	112	117	121	118	114
軽油(※)	kg-CO ₂ 対目標値比	32,051	33,266	32,304	31,334	30,394
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂ 対目標値比	582,062	612,598	590,495 96%	594,220	555,597
廃プラスチックの削減	kg 対目標値比	54,200	57,801	50,600 88%	49,082	47,610
水道水の削減	m ³ 対目標値比	5,226	5,620	4,865 87%	4,719	4,577
塗料の購入量削減	kg 対目標値比	66,982	70,298	58,933 84%	57,165	55,450

※2023年度は例年同様、売上高と同じ上昇率で算出した目標と比較した達成率です。

※基準値とは2020～2022年度の3年間の平均です。

※LPG、軽油は環境経営目標ではないが、CO₂排出量把握の為に記載している。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容(本社)

数値目標:○達成 ×未達成

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった(各部門責任者による確認、改善の進捗)

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	×	2023年5月より新ライン稼働し、その分電気代としては今年度は達成できませんでした。本社ラインだけでも原単位(Kg-CO ₂ /千円)において2022年度の0.44⇒2023年度は0.47でしたので削減できていないこととなります。来期は各項目とも本社ライン、新ラインで分けて管理していくこととなりますのでより削減できている、出来ていないが明確になります。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・不要照明の消灯(ON/OFFの役割分担の徹底)	○	
・休憩時もON/OFFの役割分担の徹底	○	
・夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切る	△	
・1階、2階の昼休みをできるだけ交代休憩を実施する	○	
都市ガスによる二酸化炭素削減		
数値目標	○	ガスについては新ライン稼働により仕事が分散したことで削減できました。電力と違う結果となったのは、本社ライン(ガスを使えばなし)から新ライン(縦釜で焼く時だけガスを使う、ガスの効率がいい)に一部が移行したからです。2024年度は今年度の結果(参考数値)が出たので、より削減意識を高めない目標達成できないこととなります。
・休憩時のON/OFFの実施(役割を決める)	△	
・温度変化の少ない効率の良い工程管理	○	
・適正な空調温度管理	○	
・特に冬季において焼付乾燥炉の熱を逃がさない	○	
廃プラスチックの削減		
数値目標	○	2023年度はブース掃除を計画どおり行うことができませんでした。塗装不良は2022年度(2.70%)に比べ削減できた(2.34%)。
・塗装不良による廃棄量の削減	○	
・ブース掃除と廃棄を定期的に行う(次期に繰り越さない)	△	
・色替えを少なくする。	○	
塗料の購入量削減		
数値目標	○	2023年11月にトーキンシステム様が新規の得意先となり、大きな仕事量をいただくようになりました(塗装工場を閉められた分のお仕事が一気に加わりました)。2024年4月より塗料の支給が購入になりました。その他、SDSは新規のお仕事を見定めて取得しています。正味の購入量に対して削減できるようになります。本社ラインと新ラインの塗料購入を区分けし、無駄がないか
・必要な分だけ塗料を購入(足りないぐらいの発注)	○	
・使用量のデータを取ること	○	
・検査者・塗装工による適正な膜厚管理と教育(品質目標)	○	
・対売上塗料比率を上げないように毎月チェックする	○	
水道水の削減		
数値目標	○	前処理は目標数値に対し84.9%に抑えることができ目標を達成しました。昼交代休憩が基準年比1.33pt増加(89.14%)し効率よく運営できました。前処理は本社ライン、カード、新ラインと複数の塗装ライン分を担っており、2024年度もより効率化(できるだけ休憩を交代で実施)し、負担を減らす必要があります。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・前処理の水洗装置のON/OFFの徹底管理	○	
・ろ過水の利用の徹底(作業場の打ち水など)	○	
・効率のよい前処理作業	○	

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容(カラーD)

数値目標:○達成 ×未達成

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった(各部門責任者による確認、改善の進捗)

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	基準年に比較し2023年度は原単位(Kg-CO2/千円)でも0.52から0.50と削減ができました。各ABCラインでこまめに電気を消すこと、作業員のベトナム人も含めて全員で目標を達成できるようにしていきます。2024年度は研ぎ場(3S)、Cラインに2Sのブースを設置したので、電力の増加になる可能性があるので注視します。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯(ON/OFFの役割分担の徹底)	○	
・休憩時もON/OFFの役割分担の徹底	○	
・夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切る	○	
都市ガスによる二酸化炭素削減		
数値目標	×	2023年度は原単位では基準年比0.35と変わりなかったが、結果的に達成できなかった。釜回数はABCラインで33回削減できたが、1釜あたりの塗装単価の大きな落ち込み(特にCライン)が目標未達成の原因であると思われます。2024年度もまずは更なる焼き釜回数の削減を実現していきます。
・休憩時のON/OFFの実施(役割を決める)	○	
・温度変化の少ない効率の良い工程管理	○	
・適正な空調温度管理	○	
・焼き釜の回数、釜単価を管理する	△	
廃プラスチックの削減		
数値目標	○	ブース掃除はABCラインとも3回ずつ実施しました。基準年比90.1%(原単位、㎡/千円でも0.11から0.10に減る)で目標達成しました。2024年度も計画的にブース掃除を行います。
・塗装不良による廃棄量の削減	○	
・ブース掃除と廃棄を定期的に行う(次期に繰り越さない)	○	
塗料の購入量削減		
数値目標	○	本社同様、2023年11月よりトーキンシステム様が新規得意先として加わった。2024年4月より支給が購入となったので塗料比率の上昇に注意が必要です。2024年度は改めて「足りないくらい」の塗料発注に務める必要があります。
・必要な分だけ塗料を購入(足りないぐらいの発注)	○	
・使用量のデータを取ること	△	
・検査者・塗装工による適正な膜厚管理と教育(品質目標)	○	
水道水の削減		
数値目標	○	トーキンシステム様が新規得意先として加わり、ロイヤル様や森川金属様などとともにカートで前処理を行っています。順番をうまく決めて進めていく必要があります。目標は93.6%で達成しました。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・前処理の水洗装置のON/OFFの徹底管理	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油、水銀使用製品)
騒音・振動規制法	空圧機、送風機
消防法(危険物)	シンナーの保管、危険物の保管、パッケージ型消火設備
フロン排出抑制法	業務用空調機、冷凍機
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫、エアコン
改正リサイクル法	パソコン
自動車NOx・PM法	トラック
水質汚濁防止法	65項 酸又はアルカリ表面処理施設

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

今期は工場売上を昨年と比較すると本社工場が82%、カラーDが82%と減少しているため電気もガス使用量は削減出来ています。しかし新ラインの売上を合計すると全体売上は98%となり、前年並みになります。今期は新ラインが稼働して本社工場の売上と新ラインの売上を合計すると昨年の本社工場の売上の102%となり、今期の本社工場の環境経営計画書を参考すると電力だけが目標値に対して106.1%となっておりますがそれ以外は都市ガスが89%、水道水も84.9%といずれも目標値の80%代となっており、本社工場+新ラインの効率が良いと言う結果が出ています。本社ラインの昼の交代休憩の稼働率も上がっており、社員全員がシステム化され動いて電気、ガスの使用量の削減効果となっています。それと比べカラーDは売上が89%と前年よりも落ちているに拘わらず、ガス使用量が102.1%、電力が98.8%と削減されていない。焼付回数も減っておらず、エコ21活動がうまく出来ていなかったとなります。何か本社のようにシステム化していかないと削減出来ないためカラーD全体でどうすれば良いか話し合ってください。

指示事項(環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制)に変更はありません。

□環境活動の紹介

(目次)

1.消防訓練(カラード2024年4月12日)

2016年から恒例となっています(2020年、2021年はコロナのため実施できず)
東大阪中消防署のご指導のもと、避難訓練、消火訓練を行いました。
本社工場では2024年5月14日に消防訓練を実施しました。

2.AED講習(本社工場2024年4月22日)

毎年実施、今年度で6回目です。
東洋テック様のご指導をいただき、AEDの使い方、胸骨圧迫の方法を再確認しました。
カラードでは2024年4月19日に実施しています。

3.社宅掃除と地域清掃活動(2023年7月9日)

毎月第2日曜日に社宅掃除と地域清掃活動を実施しております。
黄緑の「エコアクション21」のゼッケンがサマになっています。
地域清掃では、①たばこの吸殻②空き缶③プラスチック容器などのゴミが多いです。

4.西消防協力会消火救急研修会(2023年9月22日)

東大阪西消防署での研修会に参加しました。
消火器による消火体験、AEDの取り扱いを行いました。

5.脱炭素推進セミナー(2024年2月14日)

クリエーション・コア南館にて参加してきました。
省エネ診断でお世話になった若竹先生の講演を聞きました。
カーボンニュートラルなどについて勉強しました。



(補足レポート)

- ・昼休み交代達成率(本社工場)
- ・カラード釜の焼き回数(カラード)

SDGs(17の開発目標)



1.消防訓練(カロード2024年4月12日)

東大阪中消防署のご指導のもと、避難訓練、消火訓練を行いました。



教育訓練記録		KK-62-02-002		2024年 4月17日(水)	
教育記録	訓練内容: 消防訓練	名前 石田	承認 	作成 	
実施期間	2024年4月12日(金)	講師	中消防署		
教育内容		具体的内容			
<p>2024/4/12(金)に消防訓練を行いました。実際に火事が起きたと想定して行いました。Cラインで火事が発見、北川さんが消火器で火を消している間に季さんに119番通報をしてもらいました。実際に二階から避難梯子で1階に避難をしてもらいました。(麻生、ヴィンCライン)2名。1階に集合し、消火器の使い方の説明をもらいました。実際にやってもらいました。(ヴィンA、ヴィンC、バイ、トゥアン、キエン、マイン、)6名です。</p>					
<p>特記事項</p> <p>実際に火事起きたら落ち着いて避難をしましょう。</p>					

2.AED講習(本社工場2024年4月22日)



毎年実施、今年度で6回目です。

本日朝礼終了後、東洋テック様のご指導の元、救命活動およびAEDの操作について講習を行いました。

(8:30~9:00)



(人が倒れている)
安全確認、倒れている人の状況確認
(反応、両片をたたいて「大丈夫ですか!」)



周囲の人に助けを求める。
119番通報、AEDの手配依頼を明確に行う。



胸骨圧迫(5センチほど押す。AEDが胸骨圧迫の強さが有効か知らせてくれます)



ヒエンさん



グエンロンさん



フォンさん
アインさんも胸骨圧迫しました。

AEDの操作。電気ショック(周囲の人に「近づかないでください」)

※AEDの際に注意する「かきくけこ」
か、乾燥させる(汗など、水分を取り除く)
き、金属(ネックレスなど)をはずす
く、くすり(シップなど)をはずす

け、毛(体毛)を剃る(AED機器に付属されている)
こ、こぶ(ペースメーカーを付けている箇所)を避ける

救急がくるまで、胸骨圧迫を続ける。胸骨圧迫は大変な作業なので、交代しながら行うようにする。

3.社宅掃除と地域清掃活動(2023年7月9日)

毎月第2日曜日、社宅の掃除と地域清掃を行っております。



教育訓練記録 KK-62-02-002				
		2023年 7月 9日		
教育記録	訓練内容: 社宅掃除・地域清掃	名前 石田	承認 	作成 
実施期間		講師		
教育内容		具体的内容		
<p>・場所：協立工業㈱</p> <p>・社宅①掃除</p> <p>AM10：00～AM11：00</p> <p>・（参加者）石田・専務</p> <p>マイン君、ヴィン君、トゥアン君、ヴォンさん、ニアン君は台所を綺麗に掃除をしました。ヤン君はお風呂場をしっかりとゴシゴシして綺麗に掃除をしました。ユイ君は靴置き場を綺麗に並べました。</p> <p>地域清掃 AM11：00～AM11：30</p> <p>・本社 ミン、サン、（新しい人）</p> <p>・カロード トゥアン、ヤン、（石田）</p> <p>みんなで一緒にいっぱいゴミを拾いました。</p>		  		
特記事項				

4.西消防協力会消火救急研修会(2023年9月22日)



教育訓練記録 KK-62-02-002				
2023年 9 月 22 日				
教育記録	訓練内容: 西消防協力会消火救急研修会	名前 森岡	承認	作成
実施期間	2023年9月22日	講師	西消防署	
教育内容		具体的内容		
<p>西防火協力会 会長 後藤様 挨拶 東大阪西消防署長 森田様 挨拶</p> <p>(約 40 名参加) 2 班に分かれて訓練 (B 班)</p> <p>① 消火器体験、屋内消火栓設備体験 (山口様)</p>  <p>② 心肺蘇生法、AED取り扱い (石原様)</p>		<p>昨年火災 124 件 (最少) 昨年救急 35742 件 (最多)</p> <p>火事だと叫び、消火器で消化 消火器は蓄圧式 (レバーを握った時だけ薬剤が噴射) と加圧式 (一度握ると止まらない) がある。 屋内消火栓設備は地下に貯水槽がある。 2 人作業タイプで、水 (1300 /分) の噴射を体験しました。</p> <p>倒れている人を発見した場合、周囲の安全確認と周囲の人を呼び、119 番と A E D を依頼する。反応・呼吸がなければ胸骨圧迫を開始する (強く、早く、絶え間なく) ことが大事。その処置で大切な命が守れる。 呼吸や反応が回復すれば様子を見て、回復がなければ A E D を使う。</p>		
<p>コメント</p> <p>A E D (心肺蘇生法)、消火器の体験もエコアクション 21 の活動で毎年実施しています。参加された方も半数以上は訓練していない様子でした。 訓練については、今後も行っていき、いざ実践でうまくできるようにしていきたいと思いました。</p>				

5.脱炭素推進セミナー(2024年2月14日)

教育訓練記録 KK-62-02-002				
2024年2月14日(水)				
教育記録	訓練内容：できることから始めよう！ 脱炭素推進セミナー	名前 木根田 明治	承認 	作成 
実施期間	2024年2月14日(水曜日)	講師	一般社団法人省エネプラットフォーム協会 代表理事 竹若 富三郎氏	
教育内容		具体的内容		
<p>「脱炭素化」を目指す動きへの対応はビジネスチャンスとなる一方、対応が遅れた場合は、事業にマイナスの影響をもたらすことが懸念されます。東大阪市商工会議所では、下記の2回のセミナーを開催し、脱炭素化に向けた基礎知識や、その取り組み方、また公的施策・補助金・省エネ事例に加え、中小企業でも導入しやすいCO2の「見える化」ツールについてご紹介。</p> <p>日時：第1回 2024年2月7日(水) 17:00~19:00 済</p> <p>日時：第2回 2024年2月14日(水) 14:00~16:00 済</p> <p>会場：クリエイション・コア東大阪 南館3館 (クリエイターズプラザ研修室A・B)</p> <p>第2回脱炭素推進セミナー 主催：東大阪商工会議所 補助金を活用した省エネ最適化診断 より良い省エネの進め方</p> <p>省エネルギーやCO2の削減の活動支援</p> <p>エネルギー使用の合理化における専門員を中心に構成される高い専門性やキャリアを持った技術集団です。 SPF協会</p> <p>「概要」</p> <p>(1) 省エネプラットフォーム協会 (2) 公的省エネ診断支援 (3) お助け隊紹介 (4) SPF協会お助け隊支援事例</p> <p>カーボンニュートラルに向けて</p>		<p>支援事例(1) (大阪府中小事業者のための省エネ・省CO2セミナーより引用作成)</p> <p>協立工業株式会社 業種：金属製品の塗装 エネルギー使用状況：原油換算値 178kL (電気 35%、ガス 65%) 省エネ取組経緯 2018年5月：省エネルギーセンターの省エネ診断を実施。 2018年8月：省エネルギー診断結果報告会 2018年9月：省エネプラットフォーム協会によるP D C A支援 2019年：省エネプラットフォーム協会によるP D C A支援継続 省エネプラットフォーム協会の主な支援内容 ・熱損失の防止：配管保温方法、蒸気配管システムの改善提案 ・投資判断の目安を提示 参考資料：支援事例(1) 添付</p>		
				
<p>特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルの取り組みーCO2排出量削減の取り組み <p>二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」を削減するとともに、森林などによる「吸収量」を差し引くことで、温室効果ガスを実質的にゼロにする取り組みです。</p> <p>近年、グローバルに展開している企業を中心に、脱炭素経営に向けた取組が急速に広がっています。</p>				